

平成27年度 マネジメントレビュー記録

1 報告事項

(1) 指標・目標値の達成状況、監視項目の進捗状況

① 指標・目標値

第二次長野市環境基本計画に掲げている29の目標値の達成状況(担当:37所属)

達成:11項目 未達成:18項目

未達成の18項目については、不適合是正計画書を作成し改善に向けて取組んだ。

② 監視項目

第二次長野市環境基本計画に掲げている124の施策の具体的な取組である135の監視項目の進捗状況(担当:26所属)

順調:70項目 概ね順調:55項目 遅れ気味:10項目 遅延:0項目

(2) エネルギー使用量の状況

市有施設(庁舎、学校、指定管理者制度導入施設など:1,269施設)、庁用車(611台)のエネルギー使用量を集計し、原油換算(省エネ法施行規則)を行った。

合計33,270kℓ(前年度:32,933kℓ) 前年度比 +337kℓ(+1.01%)

(3) 環境監査の実施状況

【実施概要】

- ・期間:平成27年11月2日(月)~同年11月20日(金)
- ・対象:71箇所
- ・監査員:職員24人及び相互環境監査員5人の計29人
 ※相互環境監査員:千曲市職員2人、上田市職員1人、信州大学工学部2人

① 監査結果

要改善事項(0件)

② 環境に配慮した取組(延べ358件)

(内訳)不要な照明の消灯、紙の削減、エコドライブ・アイドリングストップの実施、環境教育の実施、市民・施設利用者に対する省エネの啓発・協力要請の実施など

(4) 前年度のマネジメントレビューにおける見直し指示への対応

- ・第二次長野市環境基本計画の総合的かつ計画的な推進のために、目標値が未達成となった指標を中心に、効果的な取組となるよう、引き続き工夫し改善を図ること。

指標・目標値や監視項目について、上半期の進捗状況等を確認し、全庁に対して、遅れている監視項目や指標に対する取組の更なる推進を依頼し、下半期での取組の強化を図った。

- ・エネルギー使用量を前年度比同量以下に抑制するために、効率的な取組を推進すること。

不要な照明の消灯やエコドライブの実践等、省エネへの取組を推進しているが、市有施設の新設・拡大によって、エネルギー使用量は全体では、前年度比増であった。

- ・全所属において関係する環境法令等の再確認を行い、環境監査の充実を図ること。

課長補佐級で環境監査員の選任を行っていたものを、係長級まで拡大したことで、多くの職員が環境監査に携わることとなり、NEMSに関わる環境法令や環境監査に対する認識の浸透を図ることが

できた。環境監査における指摘事項を全ての所属で確認及び改善をするよう依頼し、全庁において取り組んだ。

- ・深刻化する環境問題を、職員一人ひとりが意識し、環境負荷の低減に率先して取り組むよう研修会や説明会の内容の充実を図ること。

研修会や説明会の内容に、身近で具体的な事例を取り入れることで、環境問題を意識しやすくなるよう工夫をするとともに、職場に持ち帰り、更に高い意識の共有と取組を呼びかけた。

2 改善のための提案

- ・第二次長野市環境基本計画の推進

全ての指標・目標値の達成のため、平成27年度の結果を踏まえ、平成28年度上半期の進捗状況を確認し、遅れている場合は、原因を究明し、改善を図る。

- ・エネルギー使用量の抑制

新たな市有施設の稼働に伴い、エネルギー使用量の増加が予測されることから、全所属において省エネ活動を徹底することで、効率的で効果的な事務事業の推進を図る。

- ・環境法令等の遵守

各所属において、関係する環境法令等の確認を行い、周知と遵守を図る。

3 第二次長野市環境基本計画後期計画の策定

現行の計画は、平成28年度を目標年度としており、地球温暖化をはじめとする環境問題が深刻化していることから、新たな課題に対応した施策の方向性と目標を定め、的確に対応する必要性が生じているため、今まで以上に長野市環境基本条例の基本理念の実現に努めるとともに、より一層、環境保全施策を総合的かつ計画的に推進できるよう、新たな環境基本計画を第二次長野市環境基本計画後期計画として、策定する。

4 マネジメントレビュー(市長による見直し指示)

記録作成 平成28年8月26日

- ・第二次長野市環境基本計画最終年度のため、全ての目標値の達成に努めること。
- ・エネルギー使用量の増加を、可能な限り抑制すること。
- ・関係法令等を、遵守すること。
- ・新たな課題に対応した目標と施策を定め、実効性のある第二次長野市環境基本計画後期計画を策定すること。

署名

加藤 雄